

元気おおとよ新聞

移住者紹介 いわもと あきひろ 岩本 晃弘さん



今回は、今年4月に大豊町に移住してきた岩本晃弘（いわもとあきひろ）さんです。東京都出身、現在34歳の彼の話の聞いてみると、とにかく様々な経験をされている方がということがわかってきました。そんな彼について紹介していきます！！

大豊町へ移住したきっかけは？

大豊町に来るまでは、福井県の地域おこし協力隊で梅林の栽培や地元のイベント運営をおこなっていました。その時に嶺北の知人ができて、協力隊が終わってから、その人繋がり、まず本山町に一年ほど住んでいました。その後、大豊町でベビーリーフの栽培をすることになってこっちへ引っ越してきました。



地域おこし協力隊に入るまでは何をされていましたか？

東京で会社員をやったあと、27歳でワーキングホリデーを使ってオーストラリアに2年間行っていました。そこでトマトやズッキーニを栽培するアルバイトをやっていたのですが、一つの畑が何十ヘクタールもあって、一日作業しても一列終わらない規模でびっくりしました。オーストラリアは自然が豊かでとても楽しかったのを覚えています。

これまで農業に多く携わってきたようですが、大豊町ではどんなことをされていますか？

今はベビーリーフの栽培をしていて、末広やさくら市、インターネットなどで販売していますが好評いただいています。他にも町内のトマト農家さんのアルバイトもしています。また、個人でインターネット記事の作成を請け負ったり、れいほくTVという嶺北地域のいろんなものを紹介する動画の配信をYouTubeやフェイスブックなどで行っています。

なかなか色々なことをされていますね。趣味はどんなものがありますか？

旅行が好きです。今は四国八十八か所巡りですね。今のところ10か所まで行きました。（※岩本さんは車で巡っているとのことですよ（笑））

移住してまだ間もないですが、大豊町でこまっていることはありませんか？

地元の決まりごと（ローカルルール）が良くわからないです。戸惑うことが多いので、やさしく教えてほしいです。

今後の展望などあれば教えてください。

今やっているベビーリーフは拡大していきたいですし、トマトも自分で作ってみたいと思っています。なんだかんだ農業が好きなんだと思います。

また、高須にある林ハウスというシェアハウスの管理人にもなっていて、現在は新型コロナの影響で受入れがありませんが、再開したら地域の人たちにお世話になりながら、頑張っってやって行きたいと思っています。

インタビューを始めたときには、どこもなくのんびりした感じの人と思ったのですが、様々な経験をされてきているぶん、その落ち着きに反映されているのだなと、終わってみて感じました。これからも、そんな彼の経験を活かして大豊町で活躍してくれることに期待したいと思います。（猪野大）



元気おおとよの活動紹介

NPO法人元気おおとよの取り組みの一つに、「空き家の荷物片付け及び処分作業のお手伝い」があります。深刻な過疎高齢化により集落維持の危機に陥っているわが町の現状を、少しでも改善しようと空き家の活用の一環で、この取り組みを始めました。空き家を貸さない理由の一つに、「荷物がそのまま残っているから」の声が多く聞かれたからです。

売買または賃貸していただける空き家の家主、購入者または賃借人、元気おおとよのメンバーや地域住民、の3者が協力し、空き家の荷物を片付けます。使えるものはそのまま残し、いらぬもの・使えないものは、家庭ごみとして清掃センターに持ち込み、処分してもらいます。（※清掃センターの指示に従い細かく分別し、持ち込み不可のものは、適切に処分します）

3者が協力して汗を流すことで、①（家主は）空き家を活用できる ②（借主は）地元の人と交流できる ③家主と借主の信頼関係を築くことができる ④（地域は）人が増えてにぎやかになる、などのメリットがあります。

これまでに何件もの空き家を再生し、移住者を受け入れてきた実績があります。今後とも取り組んでいきますので、該当するような空き家をお持ちの方は、ぜひご相談ください。（野田）

告知 今年のそば物語予定

8月23日(日)そばまき

11月22日(日)そば刈り

12月6日(日)脱穀

2月7日(日)そば打ち

あくまで予定です！

詳細については後日お知らせします！

ご興味のある方は、

090-6659-9234

中平までご連絡下さい！